

令和元年 10月 10日
保健福祉局健康先進都市推進担当
福岡地域戦略推進協議会

福岡市政記者各位

「福岡ヘルス・ラボ」 楽しみながら自然に健康づくりに取り組める製品等として 4 件を認証！



福岡市と福岡地域戦略推進協議会は、人生 100 年時代を見据えた持続可能なまちを目指すプロジェクト『福岡 100』の 1 つとして、産学官民の共働により「楽しみながら」「自然に」健康になれる新たなサービス・製品の普及を促進する事業「福岡ヘルス・ラボ」を実施しています。

この度、「福岡ヘルス・ラボ」効果認証型実証事業として採択し、実証事業を行った下記 4 件について、実証の結果を踏まえ、**楽しみながら自然に健康づくりに取り組める製品・サービス等として認証**しましたのでお知らせします。

記

1. 認証を受ける事業者及び製品・サービス等の名称（掲載は五十音順）

- (1) イオン九州株式会社・学校法人福岡大学「イオン健康ポイント in 香椎浜」
 - イオンモール内をタッチラリーしながら健康ポイントを貯めることができるウォーキングラリー
- (2) 株式会社九州第一興商「生活総合機能改善機器・DK エルダーシステムを使った 65 歳からの健康づくり教室」
 - 65 歳以上の方を対象とした通信カラオケ機器「DAM」を活用した介護予防・健康増進コンテンツ配信システム「DK エルダーシステム」のプログラムを使用する健康づくり教室
- (3) 正興 IT ソリューション株式会社・株式会社アステム「リハビリウム起立の森」
 - 立ち座りにアニメーションが連動することで、楽しく起立運動の継続を促すことができるリハビリゲーム
- (4) 社会医療法人原土井病院・学校法人原学園「アクティブシニアライフ プログラム」
 - 事業所職員と市民に対し、事業所内健康増進施設を無料開放し、運動継続の動機づけに繋げる取り組み。特に事業所職員に対しては、体脂肪の減少量が大きかった者に表彰・商品を贈呈する取り組みを実施。

※実証事業の内容および実証結果に関する詳細は、別紙をご参照ください。

2. 福岡ヘルス・ラボ 効果認証型実証事業について

- 企業の製品・サービス等が、健康づくりや介護予防にどのような効果をもたらすのか、市民の協力を得ながら実証する取り組み。実証の結果、市民の健康づくりや介護予防等に効果があると評価できる場合は「福岡ヘルス・ラボ」が楽しみながら自然に健康づくりに取り組める製品・サービス等として認証し、製品等の PR に協力します。
- 認証は、外部有識者等で構成される福岡ヘルス・ラボ事業評価委員会が、サービスの意義・有効性や健康行動の習慣化の視点から当該実証結果について評価した内容を踏まえて交付します。
※当該認証は、一定の条件下で行われた実証事業の結果を受け、サービスの意義等を審査した上で与えるものであり、あらゆる条件での健康への効果、および安全性・品質等を保証するものではありません。
- 認証を受けた製品・サービス等に対し、今後、以下のような支援を行っていきます。
 - ・ 福岡ヘルス・ラボ認証マークの利用承認
 - ・ 福岡ヘルス・ラボ WEB サイト等での広報
 - ・ 製品・サービス等の PR のための場の提供（市の関連イベント等）



<福岡ヘルス・ラボ認証マーク>

(参考) 今後の予定

<リハビリウム起立の森>

- ・「早良区健康まつり」にて、認証製品の体験ブースを設置予定（10月10日（木））

<「生活総合機能改善機器・DK エルダースystemを使った65歳からの健康づくり教室」>

- ・ふくおかカイゴつながるプロジェクト2019にて体験ブース設置予定（10月12日（土））

<「イオン健康ポイント in 香椎浜」>

- ・第3回イオンモールウォーキング開催予定（11月23日（土）～翌年3月21日（土））

<認証プロダクト全般>

- ・市で実施するイベント等への出展を検討

お問い合わせ先

■「福岡ヘルス・ラボ」に関すること

福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.） URL : www.fukuoka-dc.jpn.com
担当： 櫛間・片田江 TEL : 092-733-5682 MAIL : info@fukuoka-dc.jpn.com

■「福岡100」プロジェクトに関すること

保健福祉局健康先進都市推進担当
担当： 木本・中園 TEL : 092-711-4543（内線2056） FAX : 092-733-5587

「リハビリウム起立の森」(平成29年度採択事業)



実証事業概要

(1) 概要

リハビリゲーム「起立の森」で楽しく起立運動が継続されることを検証するため、市内の老人福祉センター4か所に「起立の森」を設置し、自由に使ってもらった。また、4ヶ所の施設ごとに、「起立の森」の操作説明者あり/なし、施設間競争(注1)をする/しないの環境条件を設定して、その違いによる利用状況の変化を調査する。また、検証最終日にアンケート調査を行う。

(注1)実施回数を画面表示して個人間、施設間での競争意識による利用率の変化を見る。

(2) 実証期間・場所

2018年5月8日(火)～2018年8月23日(木)
市内の老人福祉センター4カ所(東香園、長生園、舞鶴園、若久園)

(3) 対象

健康増進を目的に老人福祉センターを定期的に利用する市民
(参加者:85名)

結果

〈継続率調査結果〉

操作説明者あり 3か月間の継続率平均**64%**

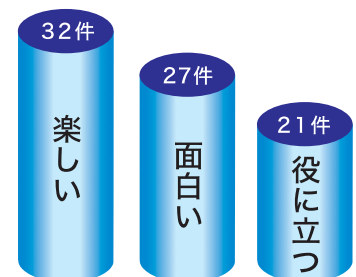
操作説明者なし 3か月間の継続率平均**70%**

↓
操作説明者がいなくても
簡単に利用できる!

継続率=利用者数(当該月内で1回以上実施した人)
÷実施者数(期間中1回以上実施された人)×100

〈アンケート結果〉

ゲームを行った感想を調査したところ、「楽しい」「面白い」「役に立つ」の回答合計は80件となり、つまらない・きついの6件を大きく上回った。



↓
楽しく起立運動ができる!

ゲームの操作説明者がいない場合での継続率が7割、また、利用した感想について、参加者の9割以上が「楽しい」など肯定的な回答となっており、本事業は、参加者が日常の中で楽しみながら簡単に出来る介護予防の取り組みとして活用できたと考えられる。

参加者の声

「楽しかったです。」

「またやってみたいです。」

「空いた時間に簡単に1人で操作できれば続けられるのではと思います。」

「足腰にかなりいいと思いました。」